

明石工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	建築計画Ⅱ	
科目基礎情報						
科目番号	0056		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	岡田光正他『新訂 建築計画1』鹿島出版会参考:『コンパクト建築設計資料集成』丸善					
担当教員	水島 あかね					
到達目標						
1) 人間の知覚や行動について説明することができる 2) 空間を構成している要素について説明することができる 3) 特徴的な外部空間の構成について説明することができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	人間の知覚や行動について事例を挙げて説明することができる		人間の知覚や行動について簡単に説明することができる		人間の知覚や行動について説明することができない	
評価項目2	空間を構成している要素について、その特徴を説明することができる		空間を構成している要素について説明することができる		空間を構成している要素について説明することができない	
評価項目3	特徴的な外部空間の構成を事例を挙げて説明することができる		特徴的な外部空間の構成について説明することができる		特徴的な外部空間の構成について説明することができない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (D)						
教育方法等						
概要	気候、風土、歴史、文化など、建築がその土地が持つ様々な要素から形作られてきたことを知り、建築に対する多角的なものの見方や建物を計画する上で必要な基礎知識を身につけることを目標とする。					
授業の進め方・方法	主に授業は事前に取り組むレポートと、それを踏まえた授業中のグループディスカッション、スライドを用いた説明による。					
注意点	この授業に求められるのは、普段から身の回りの環境に関心を持ち、人の行為と空間との関係などを良く観察するようにすること、および授業への積極的な参加である。また、専門書を読んだり、インターネットや書籍を調べてまとめるなど、時間外の課題にも取り組む必要がある。合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション	本授業の進め方や評価方法、目標を理解し、人に説明することができる		
		2週	空間の性能(5): 経済性	建築と経済について説明することができる		
		3週	空間の性能(6): 持続可能性	サステナブルな建築について事柄を挙げて説明することができる		
		4週	計画の技法(1): 計画のプロセス	計画のプロセスについて説明することができる		
		5週	住宅見学会(1)	和館と洋館の違いについて説明することができる		
		6週	住宅見学会(2)	和館と洋館の違いについて説明することができる		
		7週	建物の保存と活用	建物の保存活用事例を挙げる事ができる		
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	良い景観・悪い景観	景観に関する自分の見解を述べる事ができる		
		10週	計画の技法(2): 空間構成の技法	五原則について説明することができる		
		11週	計画の技法(4): 空間形成の要素1	空間を形成する要素をいくつか挙げて説明することができる		
		12週	計画の技法(5): 空間形成の要素2	空間を形成する要素をいくつか挙げて説明することができる		
		13週	外部空間の構成(1)	歩行空間の計画手法について説明することができる		
		14週	外部空間の構成(2)	建築の配置形態をいくつか挙げて特徴を説明することができる		
		15週	まとめ	本科目で学んだことをふりかえって、説明することができる		
		16週	期末試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	街路計画の手法と理念について説明できる。	1	後13,後14
				景観形成・風景計画、用途・形態規制の仕組みについて説明できる。	1	後9
				建築協定・緑化協定などの住民参加・協働のまちづくりの体制について説明できる。	1	後3,後9,後13,後14
				モジュールについて説明できる。	3	後4,後8,後11,後12
				建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。	3	後4,後8,後12

				建築計画・設計の手法一般について説明できる。	2	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	後8,後14
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	後8,後9,後14
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	後9,後12,後14
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	後9,後12,後14
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	1	後9,後12,後14
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	1	後9,後12,後14
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	後9,後14
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	後9,後12,後14
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	後9,後14
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	後9,後12,後14
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	後9,後14
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	後9,後12,後14
あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	1	後9,後12,後14				
複数の情報を整理・構造化できる。	1	後8,後9,後12,後14				

評価割合

	試験	レポート等	授業態度	合計
総合評価割合	40	50	10	100
基礎的能力	0	20	5	25
専門的能力	40	30	0	70
分野横断的能力	0	0	5	5